

井手英策さんと考える 【危機の時代の選択肢】



講師

慶應義塾大学経済学部教授

井手 英策

Eisaku Ide

【ハイブリッド】 丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。

成長を前提とした従来の資本主義的な経済が世界中で行き詰まりを見せる中、新たな選択肢が求められている。歴史を振り返ると諸外国は同様の危機を迎えた際、思想や歴史的背景をもとに似て非なる選択肢を選び取った。

本講座では、20世紀の危機(1930年代)と21世紀の危機(1995-現在)という二つの危機の時代を分析・比較・検討することで、世界はどのように危機と向き合ったのかを学び、どのような未来に向かっていくのか、歴史の方向感覚を共有する。

また、後半では「変革への挑戦」と題して、行政と民間それぞれの立場で自ら社会ビジョンを打ち立て、既成概念や障壁を壊してきた変革の当事者をゲストに招く。何を考え、どのように困難を乗り越えてきたのか、現場の苦労と希望を肌で感じてきた実践家の肉声を聴き、未来の展望を語り合う。

井手英策

10・7|±
14:00-17:00

20世紀の危機に
私達は何を選んだのか

1

第一次大戦の混乱から世界恐慌に至る危機の時代に、世界が選び取った選択肢は何だったのか。「Domesticated Economy(飼いならされた経済)」というコンセプトを鍵に、各国がどのように「経済を飼いならそう」として、成功あるいは失敗したのかを振り返る。

11・4|±
14:00-17:00

21世紀の危機の深層

2

新自由主義的経済システムの綻びが顕在化し、縮減期に入りつつある現代の危機において、「Commonへの回帰」の動きが広がっている。それは、交換によって営まれる資本主義的な経済から、互酬・再分配による秩序形成を重視する、本来の意味での経済への回帰でもある。アベノミクスの帰結や先進国の経済政策などを追い、その「歴史的な必然性」を考える。

12・9|±
14:00-17:00

縮減の世紀を
どう乗り越えるか

3

縮減の時代に必要なのは、すべての人びとの生存と生活を守る「ライフセキュリティ」である。その具体的施策として、医療や教育、介護、子育てといった基本的なサービスを保障する「ベーシックサービス」、人びとの生きづらさと向き合う「ソーシャルワーク」に光を当て、必要な財源のありかたとともに考えていく。

1・13|±
14:00-17:00

態度を決める時代の到来

4

原発の再稼働、防衛費拡大など日本が直面する問題を考えると、「ライフセキュリティ」の範囲が、個人の生存・生活から地球環境や国家的安全保障へと無自覚に拡張している現実が見えてくる。いま、私たちに求められるのは、足して二で割る曖昧な解決ではなく、二兎を包み込むような新たな戦略を構想し、選択すること、すなわち「態度を決める」ことかもしれない。

2・10|±
14:00-17:00

変革への挑戦 I

5

市町村合併を迫られた小さな山村が、住民の意志で自立を選択し、地域再生に向けたドラマティックな変革に挑戦してきた。その推進者の話を聞く。

ゲスト講師 上山 隆浩(岡山県西栗倉村(にしあわくらそん)地方創生推進室 参事)

3・9|±
14:00-17:00

変革への挑戦 II

6

介護、育児など身近な生活の問題に対して、当事者として、サービス提供者として、そしてコミュニティづくりの主体者として、数々の変革に挑戦している現場リーダーの話を聞く。


ゲスト講師 佐治 直(医療法人アライフサポート)

進め方

直面する危機を憂いているだけでは未来を切り開くことはできません。歴史に学び、正しい方向性を見定めると共に、それぞれの立場で実践できる一步を踏み出すことが肝要です。

数々の障壁を跳ね除け、明るい未来のために力強く歩み続ける実践家とともに、私たちがそれぞれの立場でできることを探索してみたいと思います。

開催概要

日程	2023年 10/7、11/4、12/9、 2024年 1/13、2/10、3/9（すべて土曜日）
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・日本が抱える諸問題について歴史を踏まえ、多面的に考えたい方 ・「新自由主義的な経済政策」に疑問を感じ、新たな選択肢の必要性を感じている方 ・新たな社会のあり方を具体的な方策を含めて考えたい方 ・危機の時代を切り拓くべく、変革への挑戦者の肉声を聴いてみたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講師プロフィール

井手 英策(いで えいさく)

1972年福岡県生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。日本銀行金融研究所に勤務。その後、東北学院大学、横浜国立大学などを経て、現職。専門は財政社会学、産業社会学。総務省、全国知事会、全国市長会、日本医師会、連合総研等の各種委員のほか、小田原市生活保護行政のあり方検討会座長、朝日新聞論壇委員、毎日新聞時論フォーラム委員なども歴任。2015年大佛次郎論壇賞、2016年慶應義塾賞受賞。

主な著書

『経済の時代の終焉』(岩波書店)

『分断社会を終わらせる——「だれもが受益者」という財政戦略』(筑摩書房)

『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』(岩波ジュニア新書)

『富山は日本のスウェーデン 変革する保守王国の謎を解く』(集英社新書)

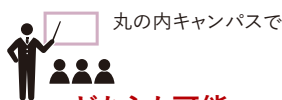
『欲望の経済を終わらせる』(集英社インターナショナル)

『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った?～ベーシックサービスという革命～』(小学館)

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては、下記開催形態をご確認下さい。

【ハイブリッド】



丸の内キャンパスで

どちらも可能

自宅からオンラインで



ハイブリッド開催形態について

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

